



グルモール

第4号

JAPANESE SCHOOL, NEW DELHI 2023 令和5年7月31日(月)

BBS校との国際交流活動

校長 尾後貫 智

インドの夏の暑さが少し和らいだかと思ったら、今度は蒸し暑さがやってきました。子どもたちは日本とは違った厳しい環境の中ですが、毎日元気に学校生活を送っています。

7月21日は、BBS（ブルー・ベルズ・スクール）との国際交流会が本校で行われました。〈ようこそ！ JAPAN☆DAY〉といったネーミングに象徴されるように、BBSの子どもたちを招いて日本を紹介する行事でした。体育館で開会式が終わった後、それぞれの教室に招いて活動を通して楽しく交流することができました。1年生（ぼんおどり）、2年生（縁日）、3年生（昔の日本の遊び）、4年生（エイサー）、5年生（日本の文化）、6年生（和太鼓）、中学生（書道、ソーラン）どの学年も、お迎えのための装飾や掲示を準備して、活動を想定した英会話を英会話の時間に学習して今回の交流に臨みました。私はBBS校の理事長や校長先生と各教室を回りましたが、子どもたちが笑顔で交流している様子を見て素晴らしい交流会ができた実感しました。

私はインドの人々が大切にしているガンジス川でさえ、たった1滴水から始まり大きな流れになっていくのと同じように、このような子ども同士の1対1の小さな交流が、やがて国と国との交流となり、互いの文化や習慣の違いを乗り越えて認め合い、分かり合えていく国際性を養っていけるものと考えています。

翌週、7月26日、27日は水泳の記録会がありました。子どもたちは自分の記録に挑戦し、自己ベストを塗り替える見事な泳ぎを見せてくれました。しかし、それよりも驚いたことは、どの学年の子どもたちも自分が泳いでしまったら終わりではなく、友だちが泳いでいる時に大きな声援を送っている思いやりのある姿にとっても感動しました。

小さなつまずきが大きなつまずきを防ぐ

親や教師は子どものつまずき（失敗）をどうしても先回りしがちです。しかし、子どもが困らないように、つまずかないように、なにもかもお膳立てしてしまえば、子どもは何も学べません。それでは、大人が敷くレールを、何も考えずにただ歩むだけの人間になってしまいます。そうならないようにするには、子どもに小さなつまずきを経験させることだと思います。そもそも人間は、失敗しなければ成長しない生き物であることは、経験上大人である私たちが一番よくわかっているはずですが、ですから、大人目の前で小さなつまずきを意図的に経験させるのです。大人が先回りせず、つまずきを経験させ、学ばせていくのです。このような小さな失敗を重ねることで、子どもは成長していきます。そして、やがてとりかえしのつかない失敗をしなくてすむようになるのだと思います。失敗を全くせず、過保護で育った子どもは、いざ一人で社会に出たとき、すぐに心が折れて大きな失敗をしてしまうと言われていています。ですから、子どもの成長に関わる親や教師は子どものつまずきを受け入れる姿勢をもつことが大切なのではないでしょうか。子どもたちが安心して失敗できる環境をつくる。子どもの挑戦を歓迎する。そんなマインドが今、大人達に求められているのだと思います。

そういえば「親」という字は、「木の上に立って（子どもを）見（守）る」という字になっているのも単なる偶然ではないような気がします。



7月の主な行事を紹介します



委員会活動発表

7月3日（月）と24日（月）の児童生徒朝会では、児童生徒会の委員会が発表をしました。

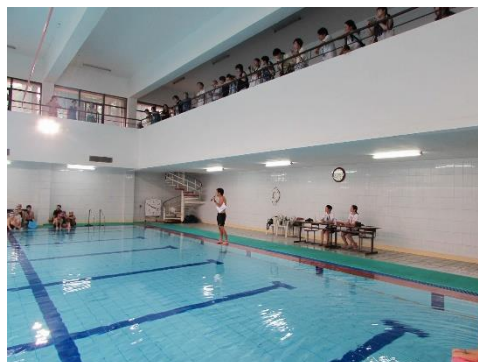
それぞれの役割をはたすため、各委員会のメンバーが工夫しながら発表をしてくれました。



校内水泳記録会、無事終了

7月26日（水）、27日（木）と2日間にわたって水泳記録会を実施しました。昨年度はコロナ感染の拡大による何回もの延期、声を出さずに黙って応援する等、大変な大会でしたが、今年はやっと正常に実施でき、感慨深いものになりました。

保護者の皆様からも児童生徒への温かい応援をいただき、ありがとうございました。



ようこそ！JAPAN☆DAY ギャラリー

「BBS STUDENTS ! WELCOME TO JAPANESE SCHOOL NEW DELHI」

7月21日（金）、BBS（ブルー・ベルズ・スクール）と交流活動をしました。今年も、BBSの児童生徒の皆さんを招待して日本文化を紹介しました。久しぶりに全校児童生徒・BBS生徒・参観保護者が一堂に会した開会式では、小学部5年生によるお囃子、中学部によるよさこいソーラン、閉会式では、小学部6年生による和太鼓をそれぞれ発表しました。

また、各学年が日本文化体験の場を設け、BBSの児童生徒に英語で説明をしました。英会話の時間に身に付けた英語力を実践する機会となると同時に、日本文化を伝える交流を通して、日本文化の良さを再発見することができました。



◆児童生徒在籍者数（7月31日現在）

	男子	女子	計
小1年	10	14	24
小2年	15	10	25
小3年	7	12	19
小4年	9	13	22
小5年	13	15	28
小6年	10	8	18
中1年	13	10	23
中2年	10	3	13
中3年	5	10	15
スーリヤ	2	2	4
計	94	97	191

保護者の皆さんへ、ご注意ください

本日7月31日に日本大使館の医務官の方を招いて、子どもたちはデング熱について学びました。

そのお話の最後に、現在デリー内で流行性の結膜炎の罹患が多くなっていることに注意喚起がありました。対策として、症状（かゆみ、充血等）が出始めたら、すぐに医師の診察を受ける。①よく手を洗うこと②タオルなどを共用しない③枕カバーを新しい物と替える等の感染防止対策の話がありました。インドではしばらく高温多湿の雨期が続きます。ウイルス性の感染症に注意が必要ですので、各ご家庭でもお子様の健康観察をよろしくお願いします。